



產業情報

雙生態港認證

綠電發展邁向國際化

約日光能源科技董事長張建偉表示，宜蘭地區日照條件不如南部，故選用薄膜太陽能電池模組，推估四號倉庫案場每年可發電約55萬度，減碳290公噸，相當於種植1萬6千棵樹，等於2.7座大安森林公園減碳量，若以每戶每年使用3,600度電量計算，可提供近150戶家戶一年使用。



基隆港務分公司總經理劉詩宗（右7），與雲豹能源執行、雲豹日光能源科技董事長張建偉（左3）等嘉賓，共同
圖/簡立宗

琉球銀行攜手則和公司 支援台日企業發展

■陳昌博

則和企業管理顧問有限公司董事長畠中則和表示，人口、企業家數規模及就業機會減少，使日本地方（縣市）的社會架構產生很大變化，加上國外進口便宜產品與日本產品競爭日趨激烈，造成日本各地方銀行經營愈來愈辛苦，銀行家數減少或被同業併購。對此，各家銀行都在苦思生存之道，照以往勤於拜訪客戶的方式，對業務助益很有限，需要更積極去想如何幫客戶找生意。沖繩縣最大規模的琉球銀行，就是積極求變的日本地方銀行之一。

在此背景之下，為強化沖繩縣內企業開拓台灣市場及與台灣企業合作的支援，琉球銀行與在台有豐富企業煤合實績的則和公司於日前正式進行業務合作。畠中則和指出，日本地方銀行對於客戶端延伸至海外的業務支援，以往做法是透過與海外的銀行

簽署合作協議，但這種方式程序繁雜耗時，常不能有效及時推動兩地企業拓展彼此市場。

琉球銀行與則和公司合作重點包括：提供台灣廠商最新的沖繩商機及投資資訊；提供沖繩廠商最新的台灣商業合作訊息，並運用則和公司的台灣在地支援服務（此部份為日商所亟需）；琉球銀行與則和公司分別對沖繩及台灣廠商提供後續業務拓展追蹤服務。

則和企業管理顧問有限公司（Sokuwa）於2004年成立，以搭起台、日之間的經濟連絡橋樑為宗旨，在日本及台灣皆設有據點，目前支援台、日合作中的案件約30件。發展主軸包括：日本企業前進台灣市場時的業務支援；日本地方自治體向台灣推廣產品、煤合商機與招攬觀光時的實務支援；台灣企業開拓日本市場及進出口貿易支援。

琉球銀行－則和と提携し台日企業の發展を支援

■陳昌博

則和企業管理顧問有限公司 董事長畠中則和氏はこう語る。「人口、企業数、就業チャンスの減少は日本の地方社会構造に大きな変化をもたらしている。加えて海外からの安い輸入製品と日本製品の競争が日増しに激化し、日本の地方銀行の経営はますます厳しい局面を迎え、銀行数の減少や同業との吸収合併などの事態を招いている。そのため各銀行は生き残りをかけて苦慮している。従来の顧客訪問という方法では利益に限界があるため、如何に顧客に代わってビジネスを探し出せるかを更に積極的に考える必要がある。沖縄県最大規模の琉球銀行は積極的に変化を遂げている日本の地方銀行のひとつである。」

これらの背景のもと、沖縄県内企業の台湾市場開拓や台湾企業との業務提携の支援を強化するため、琉球銀行は台湾での企業間提携支援で豊富な実績をもつ則和 (Sokuwa) と正式に業務提携を結んだ。畠中董事長は「日本の地方銀行の顧客の海外業務に対する支援は、以前から海外の銀行間との提携協議契約を通じて行なわれているが、このやり方では作業が煩雑で時間がかかるにもかかわらず、双方の企業の多くがタイムリーに互いの市場を開拓することが出来ない。」という。

琉球銀行と Sokuwa の連携では主に以下に重点をおく。

- ・台湾企業に対し最新の沖縄ビジネスチャンスや投資情報を提供する
- ・沖縄企業に対し最新の台湾ビジネス連携情報の提供や Sokuwa の台湾現地支援サービス（日本企業が希望した場合）
- ・琉球銀行と Sokuwa それぞれによる沖縄企業と台湾企業へのアフターフォローとフォローアップサービス

則和企業管理顧問有限公司 (Sokuwa) は 2004 年に創業、台日の経済連携の架け橋をモットーに、台湾と日本にそれぞれ拠点を置きながら台日間の業務連携支援を行い、現在約 30 の案件に携わっている。日本企業の台湾市場進出支援業務を主軸とし、日本の地方自治体の台湾向け産品 PR やビジネスマッチング、観光誘致時の実務支援、台湾企業の日本市場開拓や輸出入貿易支援を行っている。